



ADRC Highlights Vol.153

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 December 2006

➤ JICA 防災教育研修を実施

アジア防災センター (ADRC) は、国際協力機構 (JICA) からの受託事業として、2006 年 8 月 28 日から 9 月 15 日にかけて、「防災教育研修」を実施しました。この研修は、今年度より新たに行われた研修で、インド洋津波被災国から学校教育関係者を日本へ招聘し、日本の防災教育について学び、自国における学校防災教育を推進していくことを目的として実施されました。



今回の研修では、インドネシア、スリランカ、タイ、マレーシア、モルディブの 5 カ国から、文部科学省等の防災教育担当者や学校長など 15 名を招聘し、日本の防災システ

ム、防災教育教材、学校防災マニュアルなどについての講義を受けました。また、講義のみならず、兵庫県教育委員会による教員研修の見学や、県内の三田市立三田幼稚園、芦屋市立潮見中学校、兵庫県立淡路高等学校、兵庫県立舞子高等学校、静岡県の下田市立浜崎小学校など様々な学校を訪問し、防災教育の現場を実際に見学しました。

研修員は日本の学校における防災の取り組みに高い関心を示し、どの講義、見学に対しても大変熱心に取り組んでいました。

最後に、当研修の実施にあたり、快く訪問等を受入れていただきました各関係機関および学校の皆様には、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。当研修につきましては、渡部主任研究員 (watabe@adrc.or.jp) までお願いします。

➤ 国際津波・地震シンポジウム

□ 2007 年 1 月 15 日 神戸国際会議場で開催

このたび、国際復興支援プラットフォーム (IRP) は、2007 年 1 月 15 日、兵庫県神戸市にある神戸国際会議場にて「国際津波・地震シンポジウム」を開

催します。

このシンポジウムは、2007 年 1 月 15 日、内閣府、外務省、兵庫県及び国連関係機関との共催により開催される「国際津波・地震フォーラム～兵庫行動枠組の進捗状況と津波・地震災害からの復興～」の一環として、一般向けに公開されるもので、自然災害の経験や教訓、復興過程における災害に強い国づくりについて、情報共有や知見の交換を行うとともに、兵庫行動枠組 (HFA) のさらなる推進のための国際協力を展望するものです。

このシンポジウムは、日英同時通訳付でどなたでも無料でご参加いただけます。なお、16 日には、防災専門家を対象として専門家会合を開催いたしますので、関心がおありの方はお問い合わせ下さい。

国際シンポジウム (2007 年 1 月 15 日) プログラム (予定)

(1) ビデオメッセージ

ビル・クリントン国連津波特使

(2) 基調講演

マリボンヌ・プレシ・フレサール世界銀行
交通・都市開発局長

(3) 津波・地震復興報告

インド、インドネシア、パキスタン、スリランカの閣僚

(4) インド洋津波警戒体制の整備状況報告

UNESCO 政府間海洋学委員会

(5) パネルディスカッション

「HFA の進捗状況と災害からのより良い復興」

ファシリテーター: サルバノ・プリセーニョ

ISDR 事務局長

パネリスト: 内閣府、アジア防災センター、UNDP、UN/OCHA、ILO 他

コメンテーター: 各被災国代表、世界銀行、イアン・デービス (英国クランフィールド大学客員教授)

参加希望者は、氏名・職業・住所・電話/FAX 番号を、IRP 事務局へファックス (078-262-6046)、又はメール (irp-event@recoveryplatform.org) でお送りください。定員になり次第締め切らせて頂きます。

このフォーラムの最新情報につきましては、IRP の HP (<http://www.recoveryplatform.org/jp/>) をご覧ください。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)